

金沢大学広報誌 | アカサス

Acanthus

【特集】グローバル社会を担う金沢大学の人材育成 P.2 / 【緊急特集】巨大地震に備える P.12 / 金沢大学男女共同参画 P.15 / 卒業生インタビュー P.16 / サークル紹介 P.17 / 金沢大学同窓会情報 P.18 / 金沢大学基金・創基150年記念事業 P.19 / ニュース&トピックス P.20 / DATA NOTE P.22 / イベントカレンダー P.23 / ぶらりキャンパスめぐり P.24

特集

グローバル社会を担う 金沢大学の人材育成

「就業力」育むキャリア開拓支援



No. 20

インターンシップ研修



学内合同企業説明会



求人情報検索システム「KEIナビ」



特集 グローバル社会を担う 金沢大学の人材育成

「就業力」育むキャリア開拓支援

社会や経済のグローバル化が進む中、金沢大学は「国際通用性のある人材育成」を掲げ、ビジネス界に有為な人材を送り出しています。「就業力」の向上をめざし学生のキャリア開拓を力強く後押しする、本学の多角的な就業支援について紹介します。

CONTENTS

- P4 OB・OG×学生座談会
社会から必要とされる人材とは
学生時代に「考えるべきこと」「なすべきこと」
- P8 「金沢就業塾」が伸ばす 就業基礎力12の力
- P10 ここがスゴイ! 充実のサポート体制
- P11 学類のキャリアサポート
 - 事例1 学生の研究につながるインターンシップに
 - 事例2 求人企業情報をWebで公開

リーマン・ショック後も 高い就職実績を維持

2008年に起きたリーマン・ショック後の厳しい就職戦線にあっても、金沢大学は質・量ともに高い実績を維持しています。有力企業を中心に「厳選採用」の流れが強まる中、本学のブランド力、企業との太いパイプ、学生のレベルの高さ、的確な就職支援などが強みを発揮しています。

「企業側の視点」に基づく 就職支援活動を展開

ブランド力は一朝一夕に確立できるものではなく、本学の長い歴史と伝統を通して培われてきました。数多くの先輩たちがビジネス社会で活躍してきたことで築かれた「信頼性」と言ってもよいでしょう。企業との太いパイプもまた、教職員の努力と先輩たちの活躍によって支えられてきました。インターネットを活用した採用活動の普及により、一時的に軽視される風潮も見られましたが、ここへきて再び見直されており、大学と企業との関係構築の重要度が高まっています。

本学学生への企業の評価は、学生のスキルに対する安心感に加え、教育システムや教育内容の積極的な改善によって担保されてきたものです。3学域・16学類への再編効果も、卒業生を輩出する

2011年度以降、注目されるどころです。就職支援はこの10年で大幅に強化されています。2002年度に就職支援室が発足し、社会や企業ニーズの変化に対応しながら、きめ細やかな支援が行われるようになっていきます。特にここ1、2年、「企業側の視点」を取り入れた「就業基礎力12の力」の活用、ガイダンスの再編成と改善、求人情報検索システム「KEIナビ」の内容充実などが行われ、より実効性の高い支援が展開されるようになりました。

学生の自立力を培う 就業力GP「金沢就業塾」

本学が立ち上げた新プロジェクト「社会的・職業的自立力を培う『金沢就業塾』」は、こうした実績をベースに学生の「就業力」をさらに高めることをめざしており、2010年度文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」（就業力GP）に採択されました。

学生自らが「学び、実践し、気づく」成長サイクルの中でキャリアを開拓し、就業力向上を自覚する支援プログラムを展開するもので、2011年度から実践運用を開始しました。

グローバル時代に求められる「挑戦する意欲と能力」の涵養も重視されており、学生の積極的な参画と活用が期待されています。



OB・OG × 学生 座談会

社会から必要とされる人材とは

——学生時代に「考えるべきこと」「なすべきこと」
ビジネスの第一線で活躍している金沢大学の卒業生たちは、社会から必要とされる人材をどう考えているのでしょうか。実務経験や就職活動体験も交えながら、現役学生たちに「考えるべきこと」「なすべきこと」を座談会形式でアドバイスいただきました。

——まず簡単な自己紹介からお願いします。

矢後 会社に入って10年目です。文書などをデジタルデータに変換してコンピュータに取り込むイメージスキャナの開発に携わっています。今、担当しているのはスキャナとパソコンを一体化したネットワークスキャナです。既婚で3歳の子どもがいますが、福利厚生制度が充実していることもあり、仕事、主婦子育ての三役をこなしています。

坂田 県職員として、きょうのテーマと直接かかわる産業人材の施

策に携わっています。具体的には就職支援施設の運営やグローバル人材の育成などを担当しています。が、内向き志向の学生が多いといわれている中、海外での活躍をめざす人材育成も課題になっています。

中本 私は銀行の融資係として地元企業に対する事業性資金の貸出、住宅やマイカーなどの消費者ローンの貸出、投資信託や保険といった資産運用商品の販売などを担当しています。

井上 私は微粒子プロセス研究室に属しており、矢後さんの後輩にあ

れて、最後は「女の子にもてたかったから」と本音を言っちゃいました。が、むしろ良かったようです。マニュアル通りよりもオリジナリティーが認められたのだと思います。

矢後 分かる気がします。少なくともユニークな人材だと評価されたのではないのでしょうか。

玉邑 バックパッカースタイルでアジアを旅した経験があって、一般的には一番アピールしたいところ

るなのでしょうが、あえて趣味の欄にさりげなく書くだけにしました。抑えた方が逆にアピールになるだろうという読みでした。

保科 では自己アピールでは何を打ち出したんですか。

玉邑 入学時から新聞を毎日読んで、1冊のノートにスクラップしてきたことを話しました。地味な取り組みですが、継続力や社会への関心などが評価されるのではないかと思います。

重視されるのは就職後の「のびしろ」 マニュアルよりもオリジナリティーを

——OB・OGの皆さんに、志望動機や何を評価されたと思うかなど、自分の就職活動を振り返っていただきたいのですが。

中本 地元の大手企業、とりわけ地域との密着性や、やりがい、働きたいを重視して応募先を選択しました。最初に内々定をいただいたこともありますが、自分の目的に最も合致する企業だということで入行を決めました。就職活動を通じて、企業側が人材選考で重視しているのは学生時代に何に取り組んできたかよりも、社会人になってからの可能性や「のびしろ」だと感じました。

矢後 私は「地元」と「ものづくり」をキーワードに志望企業を選択しました。応募したのは2社だけで、先に内々定をいただいた今の会社に入ることを決めました。大学の専攻と会社の事業内容が合

致していませんでしたので、就職活動では元気さどやる気をアピールすると同時に、異分野の視点や知識を持つ人材のメリットを強調しました。実際、今の仕事をしていてもさまざまな視点から検討することが製品の進歩や改善につながることを実感しています。

坂田 能登出身なので能登の活性化に携わりたいと思っていました。県庁をめざしたのは、地域の活性化はさまざまな主体を巻き込みながら取り組んでいかなければならないと考えたからです。就職活動で印象的だったのは面接ですね。「なぜ」「なぜ」と詰められたときに、「分かりません」ではなく、何かを言い返す力、つまり適応力を試されていたように思います。学業成績よりも、その学問を選んだ理由、頑張ったプロセスの方が重視されることも感じました。

玉邑 それは僕も経験しました。英語力を磨いた理由を問い詰めら



るのですが、就職活動は来年になります。出身地である福井県の大手化学系メーカーを志望しています。

玉邑 グローバルな舞台で活躍することをめざし、業種を問わず「世界に行ける企業」をターゲットに就職活動を行ってきました。内々定をいただいた4社の中から就職先を決めたばかりです。

保科 私は地域創造学類の1期生にあたり、地域プランニングコースで学んでいます。まちづくりに興味があり、地方公務員をめざしています。出身地の長野県の行政機関に就職するのが理想です。

るような指導されていますか。

井上 私が所属する研究室では、修士1年生が後輩の学類4年生の面倒をマンツーマンで見守るシステムです。4年生のときは先輩から的確にアドバイスをいただけてありがたかったのですが、いざ自分が指導する立場になって、教えることの難しさに気づかされました。

保科 サークルでは上下関係がなく、セミでも先輩と対等な立場なので、私も教える力が不足していると感じています。先輩方は職場で

自ら進んで学ぼうとする姿勢が不可欠
挑戦しないこと自体がマイナス要因に

——社会人として必要とされる能力や心構えについて、学生の皆さんから聞きたいことがあります。

井上 私が所属する研究室では、修士1年生が後輩の学類4年生の面倒をマンツーマンで見守るシステムです。4年生のときは先輩から的確にアドバイスをいただけてありがたかったのですが、いざ自分が指導する立場になって、教えることの難しさに気づかされました。

保科 サークルでは上下関係がなく、セミでも先輩と対等な立場なので、私も教える力が不足していると感じています。先輩方は職場で

坂田 大学時代に所属していた部活で、後輩をうまくマネジメントでこなかった反省から、職場では後輩に対して極力、同じ目線に立って、分かりやすい言葉で教えるように努めています。

中本 忙しい職場で手取り足取り教えている時間がありませんので、質問されたら教えるというスタンスですね。逆に言うと、自ら進んで学ぼうという姿勢が不可欠だということです。その意欲が感じられれば先輩も喜んで教えますし、かわいがってくれるはずですよ。

矢後 私は製品開発の仕事なのにマニュアル通りにこなすことを重視しがちだったという反省があったので、もっと主体的にいろいろなこ

を考えようという姿勢を改めました。仕事を「作業」にしないことが進歩や改善につながるのだと思います。保科 そうした主体性や行動力はどうしたら身に付くのでしょうか。坂田 若いうちは挑戦して失敗することでしょね。失敗を経験しないと自分のものにはならないと思います。

中本 確かに失敗して覚えることの方がいいかもしれません。挑戦しないこと自体が負の要因になってくる面もあります。だからと言ってミスが許されるわけではあ

専門とは異なる世界で視野を広げよう やりたいことをやれるのが学生の特権

——大学時代に経験して
役立ったと思うことは何
ですか。

坂田 公務員試験の勉強と部活は両立できないとまわりから言われたのですが、自分がやりたくて始めたものを途中で投げ出すのがいやで、部活を続けました。その分遅れを取らないように、3年生の4月から公務員試験の勉強を始め、最後までやり抜けたことは自信になりました。

矢後 学業の専門分野にどっぷり浸かっていると視野が狭くなる気がしたので、部活は文化系の茶道

りません。特にお客様の大事なお金を扱う仕事ですから責任は重大で、何重にもチェックする管理体制が確立されています。

坂田 そのあたりの責任の重さは学生時代とは全く異なりますね。行政でも一つの判断が社会に大きな影響を及ぼしますので、判断の是非を必ず上司に確認するようにしています。

矢後 組織においては一人では何もできません。上司や同僚、他部門とのコミュニケーションや連携がとても大切ですね。

部を選びました。結果的に楽しい学生生活を過ごせ、視野も広がったように思います。今もIT系一色の職場なので、当時の友人たちとたまに会って話すことでリフレッシュしています。

中本 社会人になるとプライベートの時間はあまり取れませんので、時間にゆとりのある学生時代はやりたいことを存分にやるべきです。海外旅行や留学などもいいと思いますね。

保科 英語授業のプログラムを利用して昨年の春休みに1カ月間、ホームステイの形でイギリスに短期留学しました。古い建物に人々



が暮らしているのが素敵で、日本もそうしたスタイルを取り入れれば、外国人にとって魅力のあるまちづくりができるかもしれないと思います。

井上 たまたまですが、私も保科さんと一緒にエジンバラ大学に短期留学しました。私はアメリカにも留学したので、欧米の文化の違いを肌で感じる事ができました。

玉邑 僕は逆に欧米留学を避けてアジア旅行を選びました。リーマン・ショック後のアジア経済の発展を踏まえると、欧米に感化されるのはグローバルな人材をめざす

です。地域を事例として取り上げる授業もあったので、学生時代から問題意識を持つことができ、少なからず今の仕事にも生かすことができている。

中本 経営者の講義を受けられたのは良い経験でした。学生にとってはありがたいプログラムです。当行も金大をはじめ地元教育機関との交流を重視していますし、もっと金大との交流が深まることを期待しています。

矢後 就職する上で企業に強く太いパイプがある強みは感じますね。私も昨年、大学時代の研究室の後輩からOG訪問を受けて、アドバイスしました。無事合格して、今春から入社できたので喜んでいました。

玉邑 金大生であること自体が就職活動や学生生活においてすごくアドバンテージになっています。ところが学生の多くは、金大ブランドの価値を過小評価しているように感じます。就職活動でせっかく良い立ち位置にいるのに、勝負せずに最初からあきらめてしまう人もいて、もったいないなと思いました。

保科 期待していたとおり地域創造学類はとてもアクティブで、調査実習やインターンシップを通じて行政の現場に出かけて行って学べたのが良かったですね。ゼミの先生に行政マンとの懇親会に連れて行っていただいたこともありました。

井上 国内外の学会をはじめ、他

学生

上でむしろ危険だと判断したからです。

井上 確かに工業分野におけるアジアの成長は著しいですね。銀行マンである父も、常々「第二外国語は中国語を選ぶべき」と言っています。



井上 歩さん
INOUE Ayumi
自然科学研究科 博士前期課程 1年
福井県出身



玉邑 大さん
TAMAMURA Dai
人間社会学域 経済学類 4年
京都府出身



保科 早紀さん
HOSHINA Saki
人間社会学域 地域創造学類 4年
長野県出身

矢後 当社もスキヤナの一部を中国で生産していますし、中国人社員もいます。中国語を話せると、社内ですごく重宝されています。アジアへのシフトは大きな流れかもしれません。

なっています(笑)。

保科 私は金大生協の公務員試験対策講座を受講しているのですが、学内で授業を受けられるのは魅力だと思います。

「合わせる」のではなく「合うところ」を 就活は「自分探し」ができる貴重な機会

——最後に学生の皆さんに
抱負を、OB・OGの皆さん
には学生へのエールをお
願います。

保科 役所で先輩たちが働いている姿を見ると、「私もあんなふうになりたい」とあこがれます。就職活動の真っ最中ですが、めざす公務員試験に合格できるよう頑張りましょう。

井上 ビジネスの第一線で頑張っている先輩方の話を聞いて、勉強になりました。めざす企業に就職できるよう、これからも努力したいと思います。

玉邑 生意気に見られるタイプなんですけど、社会人になるまでに謙虚さも身に付けたらいいと思います。先輩の皆さんには金大ブランドに自信を持って自分を磨いていただきたいですね。

矢後 今日現役学生の皆さんからフレッシュさをいただいたり、私ももっとアクティブにならなけれ

地域に密着して太いパイプを持つ強み 金大ブランドの価値に気づいてほしい

——キャリア開拓や就職活
動に関して金沢大学で学ぶ
ことのメリットは何でしょ
うか。

坂田 地元と密着していることですね。石川県や北陸出身の学生が多いだけでなく、地域とともに歩む大学という色彩が強いと思いま



中本 浩和さん
NAKAMOTO Hirokazu
株式会社北国銀行金石支店
2007年経済学部卒



矢後 景子さん
YAGO Keiko
株式会社PFUイメージプロダクト事業部
2002年工学部卒



坂田 健さん
SAKATA Takeshi
石川県商工労働部産業人材政策室
2005年経済学部卒

「金沢就業塾」が伸ばす 就業基礎力12の力

金沢大学の
キャリア
サポート④

文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業」に採択された「金沢就業塾」プロジェクトが2011年度から本格始動しました。学生自らが就業力向上に主体的に取り組むためのプログラムが全学的に展開されています。



学生部就職支援室
山本 均 室長
YAMAMOTO Hitoshi

就業基礎力を「見える化」

「金沢就業塾」は、本学学生が社会的・職業的な自立を図るための就業力向上支援プロジェクトです。これまでの取り組みを整理・体系化するとともに、「就業基礎力12の力」をものさしとして、学生自らが「学び、実践し、気づく」成長サイクルを通じて、「何をめざすのか」「何をしたいのか」を明確にし、その目標実現に必要なキャリア開拓を促す仕組みです。この金沢就業塾をとおして、自分に合った進路を適切に選択し、ミスマッチに陥らない適切な就業につなげることをめざしています。

核に位置づけているのは、PDCA（計画・実行・反省・改善）サイクルやMBO（目標による管理制度）などのセルフマネジメント手法を学生向けにアレンジし、それらを活用するためのツール類をWebシステム上で学生に提供していることです。企業が「見える化」しているスキル教育の「学生版」を展開すると言えれば分かりやすいかもしれません。

企業ニーズと対比

ものさしとなる「就業基礎力12の力」はコンピテンシー^{※1}の考え方に

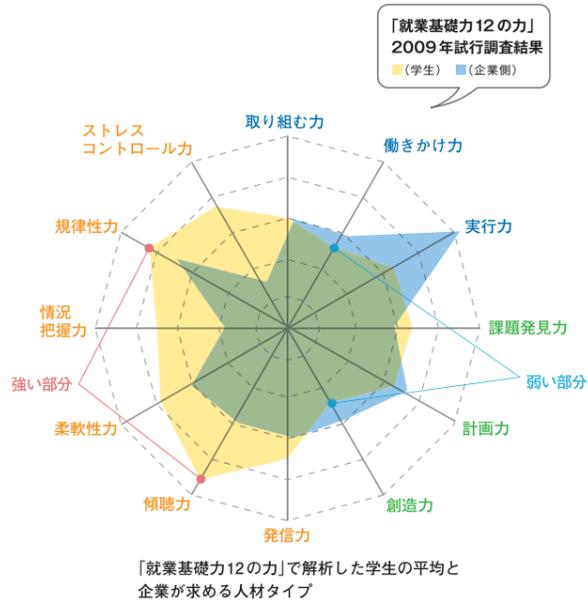
基づき、文部科学省の「学士力」及び経済産業省の「社会人基礎力」を参考にして設定しました。学生がアンケートに回答すれば、「12の力」について自らの強みや弱みをリーダーチャートで把握し、企業が求めている能力と対比できるシステムをWeb上で運用しています。

後期から正課講座を開設

「学び」については「キャリア自立支援教育プログラム」として正課

就業基礎力 12の力

- 1 取り組む力「物事に進んで取り組む力」
- 2 働きかけ力「他人に働きかけ巻き込む力」
- 3 実行力「目的を設定し確実に行動する力」
- 4 課題発見力「現状を分析し目的や課題を明らかにする力」
- 5 計画力「課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力」
- 6 創造力「新しい価値を生み出す力」
- 7 発信力「自分の意見をわかりやすく伝える力」
- 8 傾聴力「相手の意見を丁寧に聴く力」
- 9 柔軟性力「意見の違いや立場の違いを理解する力」
- 10 状況把握力「自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力」
- 11 規律性力「社会のルールや人との約束を守る力」
- 12 ストレスコントロール力「ストレスの発生源に対応する力」



を設け、PDCAサイクルの自立的運用方法や目標達成のための自己管理法などのカリキュラムから、国際通用性のあるビジネスマインドまで体系的に学ぶプログラムを2014年度までに構築します。2011年度には後期から1年生を対象とする「キャリアデザイン」を開設する予定です。経験を通過して学ぶノウハウの修得を目的に、PDCAサイクルの活用、目標の立て方と実現プランニング、「就業基礎力12の力」の詳細などについて、企業や行政機関の講師による講義も交えて計15コマで実施します。

「実践」については「経験から学ぶ」をコンセプトに、「キャリア自立支援教育プログラム」で学んだ知識を実践的に活用することも、学生の職業観・勤労観の確立に寄与する機会を「キャリアラーニングイベント」として提供します。インターンシップ、フィールドワーク、プロジェクト型事業などを組み込んでいきます。

ユビキタスに成長を確認

「気づき」に関しては「キャリア自立支援教育プログラム」や「キャリアラーニングイベント」を通じて「自らの成長に気づく」というプロセスを、プログレスシートとキャリア進捗チェックシステムを使うことで「見える化」し、「金沢就業塾」のポータル

「金沢就業塾」概念図



サイトでユビキタス^{※2}に確認できる環境を整備し、2011年度から提供し始めました。

これらと並行して、個別指導やカウンセリングに対しても全学的な支援体制を構築します。就業力育成に関するさまざまなデータを蓄積して教職員が閲覧できるようにするほか、現在は5人のキャリアアカウンセラ^{※3}養成講座受講者を2011年度中に13人に増員し、就業力向上支援に必要なスキルを体系化します。

また、「大学コンソーシアム石川」会員をはじめ地元企業を中心

に学外サポーターとの連携を強め、インターンシップにおける学生評価など、「金沢就業塾」の実効性を高める運営に協力いただくことにしています。

※1 一定の職務や作業において、絶えず安定的に期待される業績を挙げている人材に共通している行動特性。アメリカで生まれた概念で、日本でも1990年代後半から人事評価基準に取り入れる企業が増えている。

※2 あらゆるコンピュータがネットワークに接続された状態で、だれもがいつでもどこでも情報にアクセスできる状態。

※3 個人にとって望ましいキャリアの選択・開発を支援するキャリア形成の専門家としてNPO法人日本キャリア開発協会が認定している資格。



本学独自の支援企画「キャリアラーニングバスツアー in東京」で都内の企業や官庁を訪問

ここがスゴイ！ 充実のサポート体制



昨今の厳しい就職戦線にあっても、金沢大学の就職率は堅調に推移しています。地元はもちろん大手企業でも「金大ブランド」に対する信頼性は高く、学内の就職支援も一定の効果を上げていると言えます。

高い就職率を維持

本学学生の就職率は2007年度91%、08年度90%、09年度91%と推移しており、08年秋のリーマン・ショック後もほとんど変わっていません。10年度も90%前後の見込みです。

就職先についても地元有力企業、全国企業、公務員などが引き続き上位にランクされています。ここ数年、国家公務員は1種10人前後、2種100~150人がコンスタントに合格しており、石川県庁の採用試験（地方上級）も、合格者の約50%を



本学ならではのテーマで開催されるガイダンス風景

本学学生が占めています。「超氷河期」でも大いに健闘しているのは、特集冒頭で触れたとおり、ブランド力、企業との太いパイプ、学生のレベルの高さ、的確な就職支援などが強みを発揮しているからです。地元はもとより首都圏の大手企業でも「金大生を採用したい」というニーズは衰えていません。

企業とのパイプを強化

金沢大学ではこうした実績に甘んじることなく、学生に対するサポート体制の充実を図っています。年間約60回実施しているガイダンスは、開催時期とテーマを体系的に再編成するとともに、本学に合わせた内容に見直しました。

「就職ハンドブック」も大学のオリジナルテイラーを重視し、首都圏と北陸における求人・就職活動の対比や「就業基礎力12の力」の使い方、エントリーシートの自己PRの書き方、アドバイスを掲載するなど、より実践的な編集内容にしました。求人情報検索システム「KEEナビ」にはOB・OGのアドバイスや「就業基礎力12の力」の測定ツールも収録しています。

こうした取り組みに加えて、2011年度から「金沢就業塾」が本格スタートし、支援体制がさらに強化されることとなります。就職支援室では「金沢就業塾」を軌道に乗せるとともに、企業とのさらなるパイプ強化にも努める方針です。

「挑戦意欲」の喚起も

金大生へのアンケート調査では、「規律性力」「傾聴力」（まじめさ、素直さ）が高く、「取り組む力」「働きかけ力」「創造力」（意欲を持ってチャレンジする力）はやや低い傾向があります。

一方、企業側は「実行力」を強く求めており、グローバル化への対応を迫られている製造業などでは「チャレンジングマインド」を重視する傾向が強まりつつあります。すでに大手・上場企業を中心に国籍不問でより優秀な人材を獲得しようという動きも広がってきています。景気の不透明感が強い中で安定性、確実性などを求める学生と企業ニーズとのギャップが生じ始めており、学生の挑戦する意欲を育むことも今後の課題です。

事例1 学生の研究につながる インターンシップに

経 経済学類の学生はこれまで公務員・大企業志向が強かったのですが、近年、農業法人やニッチトップ企業など幅広く目を向ける傾向が強くなっています。

経済学類では5年前から企業・官公庁と協力し、1週間のインターンシップを実施しています。インターンシップを単なる就業体験に終わらせないため、参加前に学生の問題意識をヒアリングし、問題意識に合ったプログラムづくりを行うとともに、事後には学生がレポートを作成するなど参加成果を確認し、学生自身の研究につながるインターンシップになるよう工夫しています。受け入れ先の開拓は学生の希望に沿って、経済学類が積極的に行っています。

学生は社会人と触れ合う機会が多くありません。ビジネススマナーやエントリーシートの書き方といったテ



人間社会学域経済学類
安嶋 是晴 助教
YASUJIMA Yukiharu



インターンシップで学生の問題意識を掘り起こす

クニックは机上の勉強で身に付けることができても、人との出会いを通してさまざまな価値観に触れ、時間をかけて生の経験を積み重ねなければ真の成長はないでしょう。そのため私は、希望する学生に希望業種の社会人を紹介したり、私が関与している地域のまちづくり活動を紹介します、社会人と触れ合う機会を少しでも設けられるよう心掛けています。

学生は就職活動をするにあたって多様な情報を得るためアンテナを張ることが不可欠です。ただ、情報ばかりに頼るのではなくインターンシップをはじめ多様な経験を通して「情報」と「経験」の相乗効果を図ることが求められます。

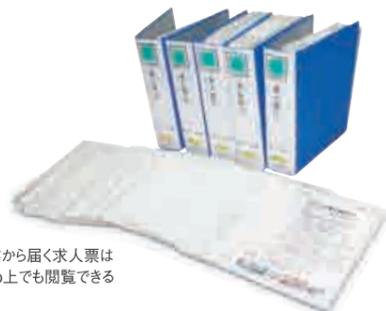
学類独自の求人や就職関連の情報を学生に提供している担当教員に、近年の就活動向や学生へのアドバイスで心掛けていることを伺いました。

学類のキャリアサポート

事例2 求人企業情報を Webで公開



理工学域電子情報学類
飯山 宏一 教授
IIYAMA Koichi



企業から届く求人票はWeb上でも閲覧できる

電 子情報学類では景気の先行きが不透明になると電力、通信、輸送などインフラ系企業に人気が集まり、今春は全国の電力会社に10名の学生が就職しています。ただし、OB・OGが就職した企業で実際にどんな仕事をしているか、そもそも地元や全国にどのような企業があるか企業情報にあまり詳しくない学生も少なくありません。そこで電子情報学類では3年生の夏休みに、石川・富山県内にある企業の見学を日帰りで行い、90%以上の学生が参加しています。

就職相談では学生が将来、どんな仕事をしたいか明確でない場合、「どんなことに興味があるのか」「コンピュータを希望するならばソフトなのか、ハードなのか」と質問を重ねて学生の「やりたいこと」を掘り下

げ、その上で求人票の中から適切な企業を選んですすめています。2011年、電子情報学類には500

近くの企業から求人票が届いています。求人票はすべて学内で独自に作った学生向けWebサイトで公開しており、企業の人事担当者や面談した際に得た情報（面接で重視すること、求めている人材像など）も掲載しています。また、OB・OGが受けた就職試験の報告書も公開しています。

今年の求人票のうち、学校推薦を含むものは350社を超えています。電子情報学類の就職希望者は例年60~70人ですが、求人倍率は10倍以上あります。じっくり構えて就職活動に取り組めば、必ずよい就職先が見つかるはず。

巨大地震に備える 東日本大震災に学ぶ



巨大津波に襲われた街は甚大な被害を受けた(岩手県陸前高田市, 4月3日) 写真提供・宮島昌克教授

2011年3月11日午後2時46分、日本国内観測史上最大となるマグニチュード9.0の巨大地震が東日本を襲いました。死者・行方不明者は3万人に迫り、被害規模は阪神・淡路大震災を大きく上回ります。巨大地震に備え、いま、何が必要なのでしょうか。

「日本海側に津波は来ない」という安全神話があります。しかし1983年5月の日本海中部地震では津波によって秋田県で100人が死亡し、その波が石川県輪島市にも襲来しています。1993年7月の北海道南西沖地震で津波の被害を受けた奥尻島も日本海側でした。津波は決して「対岸のものではありません」。

地震の原因となる活断層は全国至るところにあり、石川県では森本・富樫断層帯が確認されています。阪神・淡路大震災のような活断層型地震では震源が内陸の直下にあるため、被害規模が大きくなる可能性が高くなります。戦前からの建物が数多く残る金沢にひとたび大地震が起きれば、街は甚大な被害を受ける恐れがあります。北陸地方は豪雪対策だけでなく、地震・津波対策を講じることも喫緊の課題です。



理工研究域環境デザイン学系
宮島 昌克 教授
MIYAJIMA Masakatsu

日常の中に「防災意識」を取り込む

震災直後、数度にわたって宮城県岩沼市や気仙沼市、岩手県宮古市など甚大な津波被害を受けた地域を回り、地震が道路や橋、ライフラインに与えた影響を調査した宮島教授。被災地の印象や今後の対策を聞きました。

被害を受けた「津波防災先進地」

衝撃的だったのは従来、津波からの避難場所とされてきた3〜4階建ての鉄筋コンクリートのビルが津波によって基礎ごと横倒しになり、地盤に打ち込んだ杭が引き抜かれていたことです。

被害を受けた地域は、日本はもとより、世界的にも防災意識の高い「津波防災先進地」でした。なかでも明治三陸地震で津波被害を受けた宮古市田老町には「東北の万里の長城」ともいわれた高さ10メートル、全長2キロもある防潮堤がありました。今回の巨大津波はそれを難なく乗り越えてしまったのです。東日本大震災は甚大な被害をもたらしましたが、津波防災先進地だったからこそ、被害の拡大を食い止められた、とも言えると思います。もし関東や東海地域に同様の大地震が起きていたら、被害規模ははるかに上回っていたでしょう。

想定を超えた津波への備え

阪神・淡路大震災以前は、関東大震災を想定した耐震設計が行われ、「それ以上の大地震が起きたらどうするか」という発想を欠いていました。阪神・淡路大震災以後は、想定以上の地震に襲われた場合の対処が考えられるようになり、人命を守る避難施設や病院などの重要施設、さらに最重要道路や橋に関してはとりわけ頑強に造られるようになりました。しかし津波対策には「10メートル以上の巨大津波が来たら」という発想がありませんでした。今後、想定を超えた巨大津波に対する備えを講じる必要があります。より精度の高い「緊急津波警報」の



安全と言われていた鉄筋コンクリートの建造物も転倒(宮城県女川町, 3月19日) 写真提供・宮島昌克教授(下の写真も同じ)



石巻での調査風景。津波で流された船が道路をふさいでいた(宮城県石巻市, 3月17日)

今すぐできる地震対策

もしも地震が起こったら

まず身の安全を確保する

揺れが収まったら、出口を確保して火元を確認する

ガスの元栓は締め、ブレーカーは落とす

必ず徒歩で避難する

テレビ、ラジオなどで情報収集を行う

少なくともこれだけは準備しておこう

最低限の水と食料を準備する

3日間問題なく食べていける程度の水と食料を確保する。買い置きた水や保存食は日常的に使い、買い足すようにすれば、消費期限を心配する必要がない。

飲料水だけでなく、生活用水も確保する

「水は一人1日3リットル必要」と言われるが、これは生命維持のための数字。トイレ、洗濯などの生活用水も不可欠。風呂の残り湯はすぐに捨てないなどの工夫が大切。

停電に備えて、懐中電灯や情報源となる携帯ラジオを用意しておく

電池式の懐中電灯やラジオは時々使用し、電池の有無を確認する。





バイオマスの利用で 環境エネルギー普及に挑む

理工研究域環境デザイン学系 教授

池本 良子 IKEMOTO Ryoko

金沢市出身。金沢大学薬学部卒業。2011年4月から男女共同参画キャリアデザインラボラトリー長も務め、プライベートではスキーやキャンプも楽しむ。「無理せず自然体」がモットー。

薬 理学を学んだ池本先生は卒業後、工学部の環境工学研究室に就職。分野は異なるが、自然界の有害物質を扱う点が共通しており、違和感はなかったという。

はじめの10年間とはかく研究に没頭したが、一人前の研究者として認めてもらうには学位が必要と感じ、研究室の仕事をごしながら博士号を取得した。原動力となったのは「君は研究者に向いているよ」という恩師の一言。また、この時期はとて多忙で、「家事や子育ては、母親によく助けてもらった。感謝してもきれいな」と話す。



実験室で熱心に学生を指導

※2 理工研究域に設置された、安全で持続可能なエネルギー循環型社会を構築するための研究拠点

※1 再生可能な生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの

「研究に対する男女の能力は同じ」と語る池本先生。生活を身近に感じる機会が多い女性には、生活者などの多角的な視点を研究に活かせる強みもあるという。それでも「本当に大変なときは周囲に助けを求めるときも大切」と、自らの体験を振り返って女性研究者にエールを送る。

金沢大学男女共同参画

華麗に情熱的に！女性研究者シリーズ 3

THE STORY OF MY RESEARCH

け がで出血したとき、血液が流れ出るのを防ぐため皮膚表面で血が固まる。しかし、体の中で固まると血流を妨げてしまう。同じ血液凝固が、命を救ったり危うくしたりする。これが關谷先生の研究テーマだ。

大学院修了後、臨床検査技師として附属病院に就職。血が固まりやすい人、固まりにくい人の遺伝子を解析し、なぜこのような現象が起こるのかを調べた。「病因を知りたい患者さんのために、何とか結果を出してあげたい」という強い思いでやってきた。

教員になってからは、自らの出産をきっかけに不育症^{※1}にも目を向けた。母体の血液凝固と不育症に相関関係があることまでは知られている。「子どもを産み育てたい」という気持ちに共感した女性ならではの視点でさらなる解明をめざす。

研究と家庭が両立できているとはまだ言えない。しかし、他の先生の助け



研究室の学生とも気さくに接する

※1 流産や死産を繰り返す症状
※2 研究と、出産育児介護等を両立する研究者に研究補助業務を行うパートナーを派遣する金沢大学の制度



血液凝固と不育症の 関係解明をめざす

医薬保健研究域保健学系 助教

關谷 暁子 SEKIYA Akiko

富山県出身。金沢大学大学院医学系研究科修了。絵を描くのが好きで、保育園の文集の表紙イラストを頼まれることも。段ボールで子どもが遊べる小さな家やキッチンを作るなど、工作も得意。

や研究パートナー制度^{※2}が心の支えになっていく。「自分が選んだ道を着実に歩みたい。学生たちもいろいろな経験を積んで、その中から自分の道を見つけて出してほしい」と屈託なく答えてくれた。



上=雄勝地区では停電の寺院で診察(宮城県石巻市, 3月29日)

中=情報伝達は伝言板が頼り(石巻赤十字病院, 3月21日)

下=車両内での緊急治療(宮城県石巻市, 3月29日)
写真提供・稲葉英夫教授



東日本大震災の復興支援の一つとして義援金を募り、学生、教職員から多数の協力が得られました。また、被災された方々にもさまざまな支援活動を行っています。

東日本大震災 金沢大学の支援活動

図書館サービス支援
被災地域から帰省、避難している学生・教職員は、附属図書館(中央図書館・自然科学系図書館・医学系分館)を利用することができます。

図書館サービス支援

被災地域から帰省、避難している学生・教職員は、附属図書館(中央図書館・自然科学系図書館・医学系分館)を利用することができます。

金沢大学ネットワークサービスの提供

地震被害指定の大学の有効な学生証を提示すれば、携帯型パソコンを学内の無線LANに接続し、ネットワークIDによる認証を経て、インターネットを利用できます。学内の共用端末からのインターネット利用も可能です。

就職支援

被災大学で内定取り消しを受けた学生、または現在就職活動をしている学生に、できる範囲での相談、情報提供、就職支援室内でのパソコン利用などの支援を行っています。

詳しくはこちら

http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/earthquake/index_t.html

医薬保健研究域医学系
附属病院救命センター長

稲葉 英夫 教授

INABA Hideo



復興に直結した 「災害支援学」の体系化を

金沢大学附属病院の災害派遣医療チーム(DIMATT)の一員としてこれまで3回、被災地で医療活動を行っている稲葉教授。災害時の医療対策について伺いました。

生と死の境目が明確な災害

震災翌日の3月12日から医療活動を行った仙台医療センターでは自家発電を行っていたものの、燃料となる重油の供給が困難で、電力を要するCTなどの検査ができず、質の高い救急医療は行えない状況でした。

東日本大震災の大きな特徴は生と死の分かれ目がはっきりした災害だということです。津波に飲み込まれた人は助けようがありませんでした。しかしその一方で、津波で流された後、海で漂流して救助を求めている多数の人の声を聞いたとの証言もあり、初期捜索救助能力の不足を痛感しました。

震災直後から携帯電話など日常使用される通信機能も長らく不通となり、情報

求められる「節医薬品」

今回、多くの医療機関が被災しました。通常、医療機関の患者情報は別の医療機関と連携し、バックアップを取っていますが、東日本大震災では連携していた医療機関が同時に被災し、患者情報が失われてしまったのです。リスク分散のために今後、東日本と西日本、あるいは日本と中国、韓国など、離れた地域の医療機関で患者情報をバックアップする体制を構築する必要があります。また、東北エリアには薬品・医療機器メーカーの生産工場があり、医療品・医療材料の供給不足が長期化する可能性があります。非被災地域では「節電」と同様、医薬品・医療材料の適正使用が求められるでしょう。

被災地域では十分な医療が提供できないため、非被災地域での治療をすすめても、受け入れてもらえない患者や家族が多かった点も印象的です。患者のみならず、家族を含めた広域搬送や、家族の移住地での生活面のサポートを含めた域外医療支援も必要です。

今後、復興には長い時間を要するでしょう。そのため、被災者の復興意欲を枯渇させない「元気の素」を提供することが欠かせません。金沢大学は能登半島地震を経験した大学として、医療・工学・教育などが連携した復興に直結する「災害支援学」の体系化を推進していく責務があるでしょう。

声をかけ合って練習



野球で必要なのは強いチームワークだ。勝つためには、個人の技術を磨くだけでなく、お互いの力を信じ合い、助け合える人間関係の構築が何より重要だ。

チームワークこそが真の力 硬式野球部



硬式野球部の活躍はここで！
<http://kindaiyakyubu.blog134.fc2.com/>

さん(学校教育学類4年)は「皆の考えがなかなか一致せず、苦労したこともある」とチームをまとめる難しさやににまめる。しかし、練習以外にも皆で集まる機会が多くあり、「仲間意識が少しずつ育まれて、自ずと心を通い合ってくるのではないかと話す。誰かに悩み事があれば一緒に考えて考え、解決する。親身になって相手を思いやる気持ちで「全員野球」では最も大切な要素だ。

そんな彼らは献血に通うという一面もある。初めは一人だけだったが、いつしか誘い合って行くようになり、今では野球好きのスタッフと仲良くなるほど「常連」になった。こういう活動もチームワークの強化に一役買っているようだ。

野球を通して勝負の厳しさや人間関係の大切さを学び、困難に直面してもへこたれない芯の強さを養う。それは、部員同士の「以心伝心」の仲から醸成されるものではないだろうか。

Circle introduction

サークル紹介

現在、金沢大学には文化系サークルが43、体育系サークルが41あり、2,500人以上の学生が所属しています。
<http://ghp.adm.kanazawa-u.ac.jp/archives/12.html>



新人戦で団体優勝



創部は1955年、今年で56年目を数える。かつての金沢城内キャンパスでは旧陸軍の弾薬庫跡に射撃場があったという。現在、男女合わせて15人が角間キャンパスの射撃場で日々練習に励んでいる。

構え方と距離によって種目が分かれ、最も盛んなのは立った姿勢で10メートル先の標的に撃ち込むというもの。男子60発、女子40発で合計得点を競う。10センチ四方の標的は思ったよりもずっと小さい。最高得点の10点に至っては直径0.5ミリの非常に小さな一点だ。ここに4・

一意専心、一点を狙う ライフル射撃部

ライフル射撃部の活躍はここで！
http://sports.geocities.jp/kanazawa_rifle/

5ミリの鉛弾を撃ち込むと言え、その難しさが分かるだろう。制限時間は男子1時間45分、女子1時間15分。腕にずっしりくる重さ5キロ近い銃を抱え、いかに集中力を保つかが勝敗の鍵を握る。

練習では特にバランス感覚を鍛える。その方法はユニークで、まず5センチの角材に立つ。次に銃を構え、その姿勢を5分、10分と保つ。ライフルと体が一つになるイメージだ。

これらの地道な練習が実を結び、11月の中部地区新人戦では2年連続で団体優勝を果たした。主将の家中杏奈さん(物質化学類3年)に次の大会での目標を尋ねると「順位より得点。私は400点中370点をめざします」。他の部員も皆、具体的な目標を設定して試合に臨む。

銃器は危ないと思われがちだが、免許取得などが義務づけられているので、学生射撃史上、事故が起これたことはない。「集中力・精神力がつくのでおすすめです」と話す彼らの真っすぐなまなざしが印象的だった。

卒業生インタビュー

Graduate Interview

一人でも多くの人が幸せに。夢を実現するため、常にプラス思考で積極的に行動する石崎さんに話を伺った。

金沢大学医薬保健研究域薬学系 准教授

石崎 純子 ISHIZAKI Junko



薬学を志した瞬間

幼いころから理系科目が得意で、医療分野に興味を持っていたという石崎さん。当時、医師は男性の職業だと思われていたため、漠然と看護師か薬剤師になりたいと考えていた。薬剤師になると決心したのは中学時代だ。祖父が胃潰瘍で入院、開腹手術した本人はもろろん、看護にあたった家族も大変な思いをしたが、数年後、飲み薬で治療できるようになったと知り、驚いた。「いい薬を創り、育てて多くの人を助けたい」。迷いが吹っ切れた瞬間だった。

同級生との絆

夢を追って金沢大学薬学部(現在の薬学類・創薬科学類)に進学し、薬品製造化学研究室に所属した。研究は想像以上に大変だった。先生から「毎日12時間は大学にいなさい」といわれたように、朝から晩まで研究室に缶詰になった。実験や実習では壁にぶつかることもしばしばあった。

一方で、先輩・後輩の区別なく、かけがえない仲間たちとも出会えた。サークル活動や研究室合同パーベキューなどは何よりの楽しみだった。薬学部ユースホステル研究会にも所属し、夏季は能登・九十九湾でヘルパーのボランティアも経験した。昼夜を問わず掃除や食事の準備を手伝い、休み時間は昼の2時間程度だったが、さまざまな人と出会えることがうれしく、別れるときには涙が出た。今でも同級生の絆は固く、クラス会では全国から半数以上が集まるといふ。



大学時代、薬学部ユースホステル研究会の仲間たちと(前列中央が石崎さん)

「当たり前」も地道な努力から

卒業後は私立大学の研究助手を経て、念願の薬剤師として金沢大学附属病院に就職。薬剤師としてだけでなく、治験コーディネーター*も務めた。ここでも学生時代に培った粘り強さで、薬について感じた疑問をどんどん追究した。得られた研究成果が医薬品の取扱説明書に反映されたこともある。

研究はうまくいくことばかりではなく、投げ出したと思うこともあった。地道に実験を重ね、専門書を読み返してもまだ分からなければ、先輩や友人にも力になってもらった。

「患者さんからは、薬は効いて当たり前だと思われている。でも、薬剤師がかかわらないと当たり前前の結果さえも得られない」。

未来の薬剤師を育てる

転機が訪れたのは、薬剤師としてキャリアを積んだころ。かつての学び舎から声が掛かり、持ち前の探求心が



「生活に潤い」と始めたフラワーアレンジメント

石崎 純子 さん プロフィール

富山県出身。金沢大学薬学部卒業。楽しいことを自ら探すタイプ。旅行や美術館めぐりなど多趣味。座右の銘は「証拠に残る仕事をせよ」。



ら教員の世界へ飛び込んだ。指導で心掛けているのは、互いに思ったことを言い、認め合える雰囲気づくり。講義では「調べたことをそのまま受け止めるのではなく、『なぜだろう?』と考える姿勢が大切」とよく口にしている。薬剤師から教員へ。立場は変わっても、人と真摯に向き合う姿勢は変わらない。「皆でハッピーになる」という夢は、優秀な薬剤師を育てるといふステージを得て、さらに続いていく。

*新薬の臨床試験にかかわる患者と医師の間立ち、注意点の説明や心身のケアを行う。製薬会社との調整なども担当する。

卒業生の心よりどころ
金沢大学「誕生の地」と
「発祥の地」

創基150年を前に、金沢大学「誕生の地」である金沢城跡に続き、「発祥」の地である彦三種痘所跡地にも記念の石碑を設置します。

金沢大学は、1862年設立の加賀藩彦三種痘所を起源とする日本で3番目に歴史のある国立大学で、2012年に「創基150年」を迎えます。
1949年旧制金沢医科大学など前身校の歴史と伝統を受け継いで新制金沢大学が設置され、95年に角間キャンパスに移転するまでの46年間、金沢城跡(現金沢城公園)を主な学び舎としてきましたが、城内にはその歴史を記す公式の碑がありませんでした。
こうした中、「お城の大学」にあって入学し学んだ卒業生の「金沢大学があった証を残すべき」という声に後押しされ、2010年11月6日、金沢城公園石川門付近に石碑「金沢大学誕生の地」を設置することができました。



金沢城公園に設置された「金沢大学誕生の地」の石碑



「金府大絵図」金沢市立玉川図書館近世史料館所蔵



現在の彦三種痘所前に種痘所があった

さらにこのほど、種痘所の跡地が現在の彦三郵便局(金沢市安江町)前であることが明らかになり、2011年11月5日に開催されるホームカミングデー及び金沢大学学友会設立総会に合わせて、「金沢大学発祥の地」と刻んだ石碑を建立することになりました。
石碑は、高さ1.5メートルの角柱で、正面に「彦三種痘所跡地」、左面に「金沢大学発祥の地」、右面には説明文が刻印される予定です。
これにより、金沢大学の学章の周囲に「1862-KANAZAWA UNIVERSITY 1949-金沢大学」を配したロゴマークの意味、すなわち金沢大学の発祥と誕生が、二つの石碑によって表裏されることになりました。
※創立50周年を記念して作成されたロゴマーク

金沢大学基金

①学生を応援し、②教育研究活動を支え、③地域社会を育てる基金です。

同窓会の協力を得て

2014年3月までの積立目標額を10億円として掲げ、設立後今日まで、卒業生をはじめ企業・団体などに協力をお願いしてきました。
未曾有の震災に見舞われて日本の経済が危機に瀕しているさなかにもかかわらず、寄附が寄せられています。皆さまのご協力で感謝するとともに、より一層充実した支援事業を行ってまいります。
協力の輪を広げ
2010年度から、在学生の学資負担者へも協力を依頼しています。今後も引き続き、卒業生が活躍する企業や教職員などにも理解を呼びかけ、目標達成に向けて活動を展開していきます。

基金室の活動

日常の基金の受入れをはじめ、企業・団体への訪問、同窓会との連携活動のほか、広報物やホームページでの寄附者名の紹介など、さまざまな業務を担って活動しています。



定例ミーティング中のスタッフ

- 基金の事業計画
- 基金の受入れ
- 寄附者への謝意表明
- 基金の管理運営
- 「基金ニュース」の作成、配信

寄附者別一覧(2011年5月末日現在)

寄附者区分	延べ件数	金額(千円)
役員	31	3,740
教職員	204	18,404
名誉教授	29	2,365
健寿会*	100	2,417
在学生	16	162
卒業生	1,593	24,163
学生の保護者	165	2,011
一般	18	193
法人等	167	40,423
合計	2,323	93,878

*教員を除く退職者の会

「基金ニュース」発信中!

基金の受入れ状況やトピックスを掲載した「基金ニュース」を毎月発行しています。電子メールでの送付も可能です。配信をご希望の方は基金室までお気軽にご連絡ください。

金沢大学基金室
〒920-1192 石川県金沢市角間町
TEL (076)264-5075 FAX (076)234-4015
E-mail:kikin@adm.kanazawa-u.ac.jp
http://www.kikin.kanazawa-u.ac.jp/kikin/

金沢大学基金室東京分室
(金沢大学東京事務所内)
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3-2-10
TEL/FAX(03)5202-4522

活動報告 2011.1~6

- 1/28 長野県庁同窓会「加賀の会」2011新年総会
- 1/29 金沢工業会支部長・代表理事合同会議
- 1/30 関西四高会2011新春総会
- 2/19 北海道札幌「金澤会」総会
- 3/14 新潟地区全学同窓会「兼六会」再興準備連絡会
- 3/20 教育同窓会会報創刊号発行
- 3/24 法経文学部同窓会理事会・理事懇談会
- 3/28 つるま同窓会会報2011春号発行
- 4/22 金沢工業会誌第165号発行
- 4/27 法経文学部同窓会会報第2号発行
- 5/14 薬学同窓会常任理事会、金沢工業会理事会・評議員会
- 5/21 薬学同窓会総会・講演会・懇親会
- 5/28 体育会ヨット部60周年記念式
- 6/17 同窓会連絡協議会第11回幹事会
- 6/18 名古屋 法経文学部同窓会
- 6/26 医学部十全同窓会
- 6/4 関東 薬学同窓会

同窓会の人的ネットワークを活用し、有意義な人生を
金沢大学同窓会連絡協議会参加の同窓会

- 法経文学部同窓会…………… TEL(076)264-1667
- 教育同窓会…………… TEL(076)264-5081(学友支援室気付)
- 理学部同窓会連絡会…………… TEL(076)264-5081(学友支援室気付)
- 医学部十全同窓会…………… TEL(076)265-2132
- 医学部保健学科つるま同窓会 …… TEL(076)265-2504
- 薬学同窓会…………… TEL(076)260-6366
- 金沢工業会…………… TEL(076)264-0482
- 四高同窓会…………… TEL(076)262-5464(石川四高記念文化交流館内)

金沢大学は、卒業生を大学の重要な構成員と位置づけ、連絡協議会に未参加の前身校同窓会、入学・卒業同期会、学科・研究室同窓会、学寮やサークルOB・OG会等の参加を得て、より強固な全学同窓会組織(学友会)の確立をめざしています。

新たな同窓会結成などの情報がありましたら、学友支援室へご一報願います。

【事務局】金沢大学学友支援室

〒920-1192 石川県金沢市角間町
TEL(076)264-5081 FAX(076)234-4015
E-mail:gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp
http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakuyu/

150 金沢大学 創基150年
創基150年 記念事業

「アジア5大学学長フォーラム in 金沢」開催決定

金沢大学では創基150年記念事業の一環として、11月12日に「アジア5大学学長フォーラムin金沢」を開催します。フォーラムでは、「アジア文化圏」の現在と未来における大学の役割をともに考え、アジア諸大学における学術交流を加速し、世界に向けて情報を発信していきます。
石川県立能楽堂を会場に、中国、韓国、タイ、ベトナムの4カ国4大学から学長を迎え、本学学長を交えた5人による提題とディスカッションを行います。本学の教育と研究の国際化を一層発展させ、新風を吹き込む機会となるでしょう。
また翌13日には、アジア各国を中心とした留学生の交流の場「アジア学生フォーラムin金沢」も開催します。



研修先でワインを試飲する藤田さん(左)

金沢大学は2012年に、その源流となる加賀藩彦三種痘所の設立(1862年)から数えて150年目の節目を迎えます。
2011年3月中旬、学生ボランティア(グループ150)の藤田早紀さん(法学類3年)が、カリフォルニアワインのメッカカリフォルニア州ナバ地方を訪れました。
同地在住のOB・竹越靖夫(ご夫妻の案内で、本場ワイナリーの広大なぶどう畑を見学。一つ一つ手作業でブドウが栽培される様子を目の当たりにした藤田さんは、以前、能登のワイン会社で教えられた「ワインにかける愛情の深さが品質に大きくかかわる」という言葉を思い出したそうです。
このほか、ワイン研究所で有名なカリフォルニア大学デイヴィス校なども訪問しました。収集した情報は今後の記念ワインづくりに生かされます。

本場ワイナリーで研修!

メンバー募集中!

(グループ150)ではメンバーを随時募集しています。「学長フォーラム」、「学生フォーラム」の開催に向け、留学生の皆さんの参加も大歓迎です。興味のある方はご連絡ください。

創基150年記念事業準備委員会
〒920-1192 石川県金沢市角間町
TEL(076)264-5111 FAX(076)234-4010
E-mail:soki150@adm.kanazawa-u.ac.jp
http://www.kanazawa-u.ac.jp/kanazawa150/

February 2月

2/9 石川県立金沢伏見高等学校と合同ゼミを実施

2/15・16 留学生センターが「留学生実地見学研修」を実施
 京都・奈良で寺院見学や抹茶づくりを体験しました。



2/18 男女共同参画キャリアアデヴァインラボラトリーが石川県の子育て支援に関する講演会を開催
P15に関連記事

2/24 金沢大学イノベーションフォーラム2011を開催

2/25・26 入学試験前日程を実施
 合格発表は3月8日。後期日程の入学試験は3月12日、合格発表は3月22日に行いました。

3/25 「能登キャンパス構想推進協議会」を設立
 能登地域を一つの大学キャンパスに見立て、能登地域での人材養成や研究を行います。

3/25 日本最古の三測表寄贈者に感謝状を贈呈
 三測表は、医学部記念館資料室で保存・展示されます。

April 4月

4/1 「がん研究所」を「がん進展制御研究所」に名称変更
 4月21日には、共同利用・共同研究拠点認定記念シンポジウムを開催しました。

研究域それぞれの特性を活かした研究を推進します。

研究域内センターを設置

- 人間社会研究域
 - 地域政策研究センター
 - 国際文化資源学研究センター
- 理工研究域
 - バイオAFM先端研究センター
 - サステナブルエネルギー研究センター
- 医薬保健研究域
 - 健康増進科学センター
 - 脳・肝臓インターフェースメディスン研究センター

2/28 副学長表彰授与式を挙

March 3月

3/5 「タウンミーティング七尾」を開催
 七尾市で「七尾の未来」を話し合いました。

3/9 雪かきボランティア参加の学生と学長が懇談

3/13 学生リユース市を開催

3/14 附属小学校の児童らが陸上自衛隊員の活動を応援
 東北地方太平洋沖地震被災地での救援活動に対する応援の手紙と千羽鶴を隊員に手渡しました。
P12・**P14**に関連記事



3/19 第3期能登里山マイスター養成プログラム修了式を挙

4/7-5/31 キノコのムラージュ標本模型を特別展示
 ムラージュ技法で作られたキノコの標本模型は大変珍しいものです。



4/11-12 新規来日留学生を対象にフリーマーケットを開催

4/25 「学長と歩こう！角間の里山」を実施
 角間の里山の素晴らしい自然環境と現状への理解を深めるために初めて実施しました。



4/25 災害ボランティア講習会を開催
 5月26日には、東日本大震災の被災地で支援活動を行った学生が「被災地ボランティア活動報告会」で現地の状況や活動内容を報告しました。
P12・**P14**に関連記事

5/9 フレスコ壁画と音楽を楽しむランチタイム・コンサートを開催



May 5月

4/26 環境学コレクション及びAVブースを公開
 環境学コレクションは、学士・修士一貫の環境教育の基本資料となるもので、803冊の図書コレクションと12タイトルの視聴覚資料が利用でき、資料を閲覧するためのブースを整備しています。



卒業・入学

3/4-11 平成22年度附属学校卒業式・修了式
 附属幼稚園48人、附属小学校108人、附属中学校158人、附属高校126人、特別支援学校17人が修了・卒業を迎えました。

3/22 平成22年度学位記・修了証書授与式
 卒業生1773人、修了生762人に学位記・修了証書が授与されました。



4/6 新入生の保護者・家族を対象にキャンパス・バスツアー
 研究室、図書館や学食を見学し、夢と希望にあふれた大学生活の舞台となるキャンパスの魅力体験しました。

4/7 平成23年度入学宣誓式
 学域1813人、別科38人、編入学88人、大学院843人が入学しました。



5/14 平成22年度学長研究奨励費研究結果発表会を開催

5/22 「グリーン・ウェイブ」金沢大学角間の里」を開催
P24に関連記事

5/23-24 平成23年度北陸地区国立大学法人等初任者研修を開催

5/29 「いしかわ金沢学春コース」を開催
 金沢独自の文化や歴史を学んだ後、剣道・杖道を体験しました。

5/29 金沢大学開学記念民事無料法律相談を実施

5/30-31 薬学類・創薬科学類附属薬用植物園シヤクヤク観察会を実施

5/31 金沢大学名誉教授称号記授与式を挙



EVENT CALENDAR

お気軽にご参加ください

★マークはサークルのイベント。()は開催場所です。
*マークは金沢大学サテライト・プラザで開催します。
特に明記がないものは金沢大学角間キャンパスで開催します。

7月

- 2 金沢大学・JAXA連携シンポジウム(金沢市文化ホール)
- 2 「いしかわ金沢学」夏コース(石川県立能楽堂)
- 2 フィルハーモニー管弦楽団サマーコンサート(金沢歌劇座)★
- 2 Modern Jazz Society演奏会(金沢市民芸術村)★
- 24 夏休み企画ミニ講演①「昆虫の不思議と生物学」*

8月

- 4・5 オープンキャンパス
- 10 理学の広場
- 11 ひらめき☆ときめきサイエンス
- 12-16 夏季一斉休業
- 18 ものづくり教室
- 19 第7回金沢大学・JST新技術説明会(東京・JSTホール)
- 20 夏休み企画ミニ講演②「意外と知らないアリの秘密」*

9月

- 20-22 イノベーション・ジャパン2011(東京・東京国際フォーラム)
- 27 9月学期学位記・修了証書授与式

10月

- 1 未来開拓研究公開シンポジウム2011 in 大阪(大阪・大阪ビジネスパーク円形ホール)

Features for the Future
第4回 未来開拓研究 公開シンポジウム 2011 in 大阪

日時/10月1日(土) 14時開始
場所/大阪ビジネスパーク円形ホール(大阪市中央区城見1-3-7)

- 1 開校記念祭(附属小学校)
- 3 後期授業開始

公開講座

- 7/2-9 コードネームを使った簡単なピアノ伴奏講座 中級コース
- 7/2-9 高校生から分かる法学・政治学の諸問題(第二弾)*
- 7/16-18 14世紀の絵画技法・フレスコ画制作
- 8/3-4 高校生のための医学・発生物学への招待
- 8/24-25 聴覚障害児を指導する教員のための手話講座
- 9/3 健康寿命をのばそう(Part3)*
- 9/3-10 生活の中の化学について学ぶ
- 9/10-10/1 健康を創ろう

- 15・16 開校記念祭(附属高等学校)
- 20・21 北陸技術交流テクノフェア2011(福井・福井産業会館)
- 27・28 文化祭(附属中学校)
- 29 第4回未来開拓研究公開シンポジウム(東京・学術総合センター)

Features for the Future
第4回 未来開拓研究 公開シンポジウム

日時/10月29日(土) 13時開始
場所/学術総合センター(千代田区一ツ橋2-1-2)

- 29・30 「いしかわ金沢学」秋コース(キゴ山ふれあいの里)

11月

- 4-6 金大祭
- 5 第5回ホームカミングデー
- 5 ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー
- 5・6 医学展
- 6 金沢大学散策ツアー
- 6 ひらめき☆ときめきサイエンス(保健学類)
- 12 アジア5大学学長フォーラムin金沢(石川県立能楽堂)
- 13 アジア学生フォーラムin金沢(しいのき迎賓館)
- 26 北陸4大学連携まちなかセミナー*

12月

- 3 マンドリンクラブ定期演奏会(金沢市文化ホール)★
- 3 琴尺八部第42回邦楽演奏会(石川県文教会館)★
- 10 「いしかわ金沢学」冬コース
- 17 Modern Jazz Society 演奏会(アートシアターいしかわ)★
- 24 吹奏楽団定期演奏会(金沢歌劇座)★

地域の皆さまの生涯学習をお手伝いいたします。
http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/kaiho_c/kouza.htm

DATA NOTE

交流協定

2月 イタリア・フレンツェ工科大学と大学間交流協定を締結

3月 タイ・プリンスオプソクララ大学と大学間交流協定を締結

東・東南アジア地球科学計画調整委員会(COPE)と交流協定を締結

5月 台湾・国立台湾大学と大学間交流協定を締結



協定書を取り交わす李学長(右)と中村学長(左)

その他連携・協定

3月 金沢市及び北陸鉄道株式会社と角間キャンパス周辺交通の利便性の向上を図るため、公共交通利用促進協定を締結

受賞



左から魚住社長、山野市長、中村学長

4月

文部科学大臣表彰

科学技術賞(研究部門)

がん進展制御研究所・平尾敦教授

若手科学者賞

フロンティアサイエンス機構・福岡剛士特任准教授

「ナノバイオ界面現象の原子スケールイメージング技術の研究」



賞状を手にする平尾敦教授(右)と福岡特任准教授(左)

6月

平成23年春の叙勲で本学の名誉教授ら3名が受賞

- 端宝中経章(教育研究功労)
- 杉田忠彰 名誉教授
- 田中宏幸 名誉教授
- 柴田固弘 名誉教授

研究・教育実績

2月 がん研究所(現がん進展制御研究所)・田所優子助教らの研究グループが、毛包幹細胞が色素幹細胞を維持する仕組みを解明

独立行政法人日本学術振興会による「先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム)」に6件採択

5月

学際科学実験センター遺伝子研究施設・西山智助助教らの研究グループが米科学雑誌「Science」に論文掲載

シダ植物の一種であるイヌカタヒバのゲノム解読に世界で初めて成功し、陸上植物が共通に持つ遺伝子などを明らかにしました。



イヌカタヒバ(提供:基礎生物学研究所)

論文引用数

学術論文被引用数国内21位

大学の研究面の成果や実績を示す指標の一つとして学術論文の引用数があります。

【分野別】
薬学・毒性学(国内5位)
神経科学・行動科学(国内10位)
臨床医学(国内12位)

日本論文引用動向
国内研究機関ランキング(総合)(2000年~2010年)

順位	世界順位	機関名	被引用数
1	13	東京大学	1,080,166
2	33	京都大学	757,253
3	40	大阪大学	646,338
4	66	独立行政法人科学技術振興機構	503,453
5	67	東北大学	490,403
6	110	独立行政法人理化学研究所	362,564
7	118	名古屋大学	350,266
8	127	九州大学	326,548
9	148	北海道大学	296,291
10	152	独立行政法人産業技術総合研究所	291,870
11	176	東京工業大学	264,969
12	233	筑波大学	206,638
13	289	慶應義塾大学	168,735
14	303	広島大学	163,164
15	304	自然科学研究機構	162,449
16	320	千葉大学	153,238
17	350	岡山大学	137,972
18	364	神戸大学	130,139
19	392	東京医科歯科大学	118,441
20	406	独立行政法人物質・材料研究機構	113,315
21	407	金沢大学	112,294

トムソン・ロイター社「Essential Science Indicators™」データベースより

科研費採択件数

平成23年度科研費新規採択ランキング17位

日本の学術振興のために優れた研究を支援することを目的に設けられた補助金。

平成23年度は、金沢大学から新規281件(交付金額8億6667万円)、新規および継続を合わせ656件(交付金額1277万円)が採択されました。

平成23年度科研費採択件数ランキング(新規採択)

順位	機関名	採択件数
1	東京大学	1,349
2	京都大学	1,073
3	大阪大学	981
4	東北大学	976
5	九州大学	705
6	北海道大学	672
7	名古屋大学	609
8	筑波大学	442
9	広島大学	395
10	慶應義塾大学	359
10	神戸大学	359
12	岡山大学	325
13	早稲田大学	305
14	千葉大学	295
15	東京工業大学	284
16	独立行政法人理化学研究所	282
17	金沢大学	281
18	新潟大学	254
19	熊本大学	250
20	東京医科歯科大学	220

注) 研究代表者の所属する大学等により整理(文部科学省研究振興局学術研究助成課)



階段エリア
樹上の花や果実を間近で観察できるよう、
全32段に薬木を植栽。

シャクヤク観覧会などで
一般市民に開放されて
います。

総面積は薬用植物園
として国内最大級の
39,000㎡。

薬用植物の観察、
栽培、収穫などを行う
薬用植物園です。

ぶらり
キャンパス
めぐり

金大生がお気に入りの
場所を紹介します！

医薬保健学域薬学類・創薬科学類附属
薬用植物園

中央エリア

ロックガーデンでは中国区、ヨーロッパ区
などに分け、国外の植物を中心に植栽。

Acanthusとは

古代ギリシャ・ローマに由来する植物で、和名を葉薊(ハアザミ)という。金沢大学校章のモチーフとなっていることから、キャンパス内施設に名称が使われるなど、長年にわたり学生や教職員に親しまれている。

[表紙写真] 角間ゲストハウス(角間キャンパス)

宿泊室・和室・レセプションルームを備え、教育研究などの目的で来学するゲストのほか、教職員・学生も利用することができます。モデルは薬学系の学生の皆さん。

2012年、
金沢大学は
創基150年。
先魁 共存 創造



金沢大学の最新情報は
金沢大学ホームページからご覧いただけます。

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/>



K-Dictionary

金沢大学の魅力を
230のキーワードから
紹介します。

[http://www.kanazawa-u.ac.jp/
K-dictionary/mobile/](http://www.kanazawa-u.ac.jp/K-dictionary/mobile/)



Mobile Site

携帯サイトはこちら！

<http://daigaku.jp/kanazawa-u/>